

留学生の声エッセイ

経営学部 コグチュク カタジナ(KOGUCIUK KATARZYNA)

忘れられない1ヶ月

ポーランドのワルシャワ大学から来ましたコグチュクカタジナです。

日本語を小学生の時初めて聞いてから、難しいけれど面白い言語だと思っていました。それをきっかけに、大学で日本語を専攻することになりました。3年間くらい応用言語学部で日本語を勉強して、これから日本語能力をポーランドだけではなく、日本でもっと上手にする機会があれば、素晴らしいチャンスだと思いました。2年前に城西大学に留学したことがあるワルシャワ大学の先輩に、城西大学を紹介してもらいました。先輩の話を聞いて、私もこの大学に行きたいと思うようになりました。そのために、今年経営学部に入りました。

入学式の時、宣誓を読み上げるよう頼まれました。大きな責任を感じるとともに、この日、今年の新入生を代表できることを誇りに思いました。正直に言うと、緊張していました。日本語はまだペラペラではないので、間違えてしまうのかとずっと心配していました。時間があつたときに朗読の練習を頑張っ、当日のスピーチについて何人かの方に褒めていただきました。もし、もう一度同じような役割を果たす機会があれば、一生懸命頑張りたいと思います。



< 入学式の後の写真撮影 >



< 入学式へ向かうところ >

私は言語学に興味があって、日本語で行われる授業に参加することは貴重な経験です。特に「マーケティングコミュニケーション」と「ジェンダー文化論」という科目が面白いと思います。その上、鈴木先生の地域経営論の授業に、ポーランドについてプレゼンテーションをする機会がありました。そのあと、多くの学生から「ポーランドに行きたくなった」というコメントを聞いて嬉しかったです。

今までで一番心に残っているのは、ほかの留学生との歓迎会です。JISTの方や、それまで話したことなかった留学生とも、ようやく話すことができました。友達を作ることは大切だからこそ、みんなと会いたいと思っていました。写真を撮るゲームが本当に楽しかったです！キャンパスを歩いたり、ほかのグループの人と話したりしながら、素敵な写真をたくさん撮ることができました。それに、大学の新しい場所も知ることができました。私のグループは勝てなかったけれども、素晴らしい時間を過ごしたと思います。



<一緒に夕食を食べています>

暇な日には、友達と二人で川越市に行きました！街の魅力的な道を散歩して、大好きな抹茶も飲みました！やはり、日本の抹茶は最高ですね。川越市の雰囲気は東京やさかと違うので、時間があれば、また行きたいと思います。



<川越への旅>



<川越の神社>

たった1ヶ月でしたが、いろいろなことを経験することができました。これからも、もっと素敵なことを楽しみにしております！

勉強を頑張って、日本のいろいろなきれいな場所を訪ねたいです！